



## 学校安全学シンポジウム2023

# ASUKAモデルの

## 教訓と小学校段階からの救命教育

きりぶち ひろし

桐淵 博

- ・日本AED財団理事
- ・埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター研究員
- ・元さいたま市教育委員会教育長

みずむらりか

水村  
吏香

- ・さいたま市立大谷小学校養護教諭

かみはま たつや

上濱  
龍也

- ・岩手大学教育学部教授
- ・岩手大学教育学部附属教育実践・学校安全学研究開発センター委員

令和4年度より実施されている「第3次学校安全の推進に関する計画」では、学校管理下における児童生徒等の死亡事故の発生件数を限りなくゼロにすることを旨とするとともに、全ての教職を志す学生に対してAEDを用いた実習を含む一次救命処置（BLS）に関する知識やスキルを身に付けることが求められています。

そこで、今年度の「学校安全学シンポジウム」は、学校にとどまらず市民による救命処置の常識を刷新した「ASUKAモデル」に注目し、学校事故対応の在り方や小学校からの救命教育の意義及び安全教育との接続について学内外の参加者と理解を深め、各地の学校安全の充実に資する議論を深めることを目的としています。

### 「ASUKAモデル」とは

2011年9月29日に発生した桐田明日香さんの死亡事故を契機として、さいたま市教育委員会が2012年9月30日に公表した教育モデル。（参照）『体育活動時等における事故対応テキスト～ASUKAモデル～』。

2023年  
12月2日(土)

13:00～16:30

会場：岩手大学 教育学部1号館 北桐ホール（定員100名）

WEB：ZOOMウェビナー

申込締切：11月26日(日)

主催：岩手大学教育学部附属教育実践・学校安全学研究開発センター

後援：岩手県教育委員会、日本安全教育学会、日本SPS協議会、岩手県PTA連合会

参加  
無料

会場と  
オンラインで  
開催



お申込みはこちらから